



## 事業実績書

事業名	for high school 沼津マーケティング&プレゼン塾
場所	沼津市 米山町（沼津商工会議所）地内
期間	平成 30年 4月 1日 ～ 平成 30年 12月 31日
日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>5月中旬 隔週で社内ミーティング  前回反省洗い出し、日程決定、スケジュール・内容確認  7月1日号広報掲載依頼</p> <p>6月初旬 企業説明会用資料作成、FB告知、沼津市・教育委員会後援申請</p> <p>6月12日 企業説明会／プラサヴェルデ 参加企業 10社 参加人数約 20名  昨年度企業代表イワサキ経営吉川社長登壇</p> <p>6月中旬 サポート企業・課題決定、協賛各社決定</p> <p>6月下旬 チラシ、HP完成  市内高校、市役所・図書館等へチラシ配布と挨拶回り（計 12校・4施設／誠恵高校除く）</p> <p>7月初旬 高校生募集開始</p> <p>7月下旬 講師ミーティング  レジュメ、指導内容確認</p> <p>7月下旬 サポート企業回り、詳細説明  「グッドデザインしずおか」応募</p> <p>7月28日 高校生募集締め切り 先着 20名を 5名オーバーの 25名に達したため</p> <p>8月初旬 新聞各社プレスリリース、沼津副市長招待依頼</p> <p>8月9日 学生スタッフミーティング／サンウェルぬまづ 1期生 4名参加  2018年度新企画、役割分担説明</p> <p>8月10日 チーム分け決定後、参加高校生へ資料郵送</p> <p>8月20日 講座初日／沼津商工会議所会議室  Koushi 3 mei, shiyakushoshokuin 2 mei, gakuseisutahhu 3 mei, heishasutahhu 2 mei  トライ・カンパニー見学 1名 9:30～10:20 オリエンテーション  10:30～12:00 第1講義 「プロジェクトプランをたてよう」  12:00～15:00 会社訪問、ヒアリングランチ  15:00～16:10 第1回チームミーティング（外部・内部環境を調べよう）  16:20～17:20 第2講義 「調査内容を分析して事業方針を決めよう」  17:20～18:20 第2回チームミーティング</p> <p>8月21日 講座2日目 初日同メンバー + 商業高校、暁秀高校先生見学  9:30～10:00 振り返りと今日の流れについて  10:00～12:00 第3回チームミーティング（アイデア出しと事業決定）  13:00～14:00 第3講義 「聞き手を唸らせるプレゼン手法」  14:00～14:30 第4講義 「見栄えアップ！プレゼン資料の作り方」  14:40～18:00 第4回チームミーティング（プレゼン資料を作ろう）</p> <p>8月25日 講座3日目／沼津商工会議所ホール  初日同メンバー + 学生スタッフ 3名、弊社スタッフ 4名  9:30～9:45 振り返りと今日の流れについて  9:50～12:00 第5回チームミーティング（プレゼンを練習しよう）  13:00～14:30 プレゼン大会 新屋副市長他、観客約 60名／会場総人数約 100名  14:30～16:00 総評、表彰式、記念撮影、交流会</p>
	 

	<p>9月初旬 静岡新聞掲載  9月9日 沼津朝日掲載(8/22 紹介記事)  9月中旬 高校生提案を受けてアーティストックスが「売上アップ祭り」チケット作成、配布  11月12日 グッドデザインしずおか特別賞授賞式/葵区 MIIRAIE リアン  11月下旬 サポート企業へ企画進捗状況アンケート調査</p> <p>12月21日 受講生、卒業生と企画進捗状況報告会/サンウェル沼津 受講生3名、卒業生2名参加</p>
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20名募集に対し、25名の参加(4校/昨年併せ延べ7校になり市内高校への認知が広がっている)</li> <li>・前年度参加でリベンジに燃えるチーム、他校生と活発な議論を交わすチームなどが他チームへの触発剤となり学校外の活動の有効性、生きたマーケティングを身近な会社の実課題解決へと用いることで地域社会全体、地域会社を見る目を養い机上論ではない本事業の重要性を示した。</li> <li>・一般公募の2社を加えた全てのサポート企業5社が次年度も参加希望しており(別紙企画進捗状況報告書参照)、高校生の発想力・実効性の高い企画案へ称賛や感謝の声が上がり本事業の有効性が更に示された。</li> <li>・課題設定にあたり「今、高校生に必要な(学校では教えない)お金の知識形成」という前年度の保護者の要望を元に立案したり、地元出身の行政若手担当者の事業件走や学校教師、企業営業担当者が講座を観覧したりと産官学民連携の機能を十全に果たした。</li> <li>・1期生の7割がリターンし再度本事業に参加、サポートスタッフとして応援や指導をし、本講座の力点・魅力・入試への活用法など学校枠を超えた有意義な活動伝達・魅力発信が行えた。</li> <li>・卒業生の大学生からは今年度のサポート企業を知り地元の将来性のある企業の新たな発見があり、地元就職や起業も視野に入れた地域愛が育っていることから本事業の撒いた種が育ってきている。</li> <li>・更に1期生からは、本事業化から派生した英語サポートプログラムがライオンズクラブで受賞したり、高校生まちづくりイベントのリーダーに就任したりと、本事業を通して地域ぐるみ・地域づくりの一翼を担う若者が輩出され、また次代へと受け継がれ将来のUターン層の醸成の着実な一歩となっている。</li> <li>・上記未来へ繋がる内容が評価され、「2018 グッドデザインしずおか特別賞」を受賞した。</li> </ul>
<p>今後の活動予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標である、プロジェクトプランの継続支援について2社が検討中であり今後サポート・報告していく予定である。</li> <li>・採択案にはチームを超えた新たなメンバー編成をし、会社学生間によるブラッシュアップの検討をする。</li> <li>・上記動向をホームページ等で随時報告し事業の認知向上に努める。</li> <li>・次回開催に向け未だ不参加校への更なるアプローチに努め、より質の高い参加生の獲得を目指す。</li> <li>・動画やインスタグラム等の若者向けコンテンツ配信での可能性を検討する。</li> <li>・将来的なUターンを目的とした、若者起業のあり方を模索する。</li> <li>・パワーポイントの実用的な授業を望む学生の声を受けて、学校での出張授業の可能性を検討する。</li> </ul>
<p>自己評価</p>	<p>80点</p> <p>今回初公募であった一般企業からの手応え、学生の企画案実施状況、次回への参加希望などを鑑みてもかなり手応えが感じられる回となった。</p> <p>グッドデザイン特別賞を受賞するなど、外部からの評価も頂き手探り感のあった本事業も方向性としては認められた思いがする。</p> <p>毎度学生の多様性には驚かされるので、会社やそれを取り巻く地域もより柔軟性を持った連携が未来への一歩だと強く認識できた良い回となった。</p> <p>Uターン促進というテーマをもつこの企画も、そうした空気を醸成することは非常に長期かつ継続的な改善を必要とすると感じる。</p> <p>若者が地元で生きるという想像を夢をもってしてもらうためにも、企画のブラッシュアップと継続開催への仕組みづくりを真剣に考えていきたい。</p> <p>また、企画する楽しさを企画当事者である私たちが、この会を通じて発信していくことも重要と捉える。大人が地域でやりがいをもって仕事をする姿を見せる機会としても機能させていきたい。</p>